

広島の 優しい木の住まい

地域産材を使って建てた「長期優良住宅」実例集 **HIROSHIMA - WOODY LIFE VOL.17**
一般社団法人広島県工務店協会 発行



広島の
有力工務店が建てた
木の家

22邸



特集
広島の
風土に根付く
石州瓦の魅力

技ありアイデア
注文住宅成功の方程式
住まいのお手入れガイド

長持ちで丈夫で、家族を守ってくれる
強くてかわいい瓦を、選びました。

大切な我が家を、いつまでも、美しく――。

粘土瓦は、高温で焼き締められ、表面をガラス質のゆう葉で覆われているため、

長期にわたって劣化による色落ちがほとんどありません。

雨の日も、風の日も、住まいを守ってくれる日本の気候風土に適した屋根材です。



名品は永遠
石州瓦工業組合

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町1405 TEL 0855-52-5605 FAX 0855-52-0766

<http://www.sekisyu-kawara.jp/>



検索

E-mail rooftile@tx.miracle.ne.jp

広島の
優しい木の住まい **VOL.17**

2017年10月5日発行 発行人／河井 英勝 編集人／堀之内 健二

発行／一般社団法人広島県工務店協会 〒734-0044 広島市南区西霞町2-31-601 TEL.082-256-3080
発売／株式会社ザメディアジョン 〒733-0011 広島市西区横川町2-5-15 TEL.082-503-5035

広島の 風土に根付く 石州瓦の魅力

台風や潮風の影響を受ける沿岸地域や
寒暖の差が大きな豪雪地帯など
様々な気候の特色がある広島。

耐水、耐風、耐久性を持つ石州瓦は
この地域に適した屋根瓦であると言える。
美しい日本、美しい広島の景色を作る
石州瓦の魅力を紐解いてみよう。

Kawara
case 1

木の優しさに包まれた 大人の上質な平屋の家

「住むなら木の家。それも日本の伝統的な工法で、大工さんが手刻みで建てるてくれる家がいい」と木の家を心から愛してやまないご主人。ご夫婦ふたりの暮らし。夫婦が心から気に入り、安らげる住まいを望んだ。

平屋で玄関は西側に。バスルーム、トイレ、寝室は広く。ウォークインクローゼットの収納スペースなどの希望を伝えた上で、工務店から提案された図面は、ご夫婦が一日見て気に入ったものだった。

リビングの天井は、木材のたくましい組み手があらわになっており、木の家が好きなご主人の目を癒している。またキッチンは魚釣りや料理が好きなご主人に合わせて広めに計画。使い勝手も良い。パントリーもあり収納量は申しぶんない。和室の床柱のエンジュの木は奥様が選んだこだわりの1本。また南の掃き出し窓にある特注の葦戸もご夫婦のお気に入りで、家のどこをとっても上質感が漂う。大胆な中にも繊細なこだわりが行き渡る大人の住まいとなつた。



リビングダイニングには梁や組み手があらわになっており、ダイナミックな空間に。ご夫婦で作業できるようにキッチンは広く開放的に。陽光と風を取り込むため、日本古来の建具である葦戸を取り入れたこともご夫婦のお気に入り。

取材協力／永本建設株式会社



Kawara case 3
室内の温度差をなくす
和を感じさせる外観と、西条町の雄
大な山々と町並みを望む大きな窓。そ
してヒノキの大黒柱と中2階に作られ
たスキップフロアが印象的な木の住ま
い。太陽光発電を携え、基礎断熱、樹
脂サッシを始め高い断熱性を持つゼロ・
エネルギー・ハウス（ZEH）で、エアコン
一つで一年中、家全体が適温に保たれて
いる。それは1階と2階の温度差が常に
1度前後しかないと快適さだ。
紺をアクセントカラーにしたモダンな
和の佇まい。4本の柱で支えた深い軒が
印象的。基礎断熱や樹脂サッシを用い
たZEH住宅で、玄関ドアも断熱性の
高いものを選んだ



取材協力／豊北木材工業株式会社



玄関アプローチやウッドデッキにはしっかりと深い軒を設置したH様邸。そこにももちろん石州瓦が施され、快適な室内空間を作っている



Kawara case 4
洋風の外観にも合う石州瓦
景観に馴染むデザイン
南フランス風の外観が印象的な広島市佐伯区のH様邸。和風建築のイメージが強い石州瓦だが、このように洋風デザインの住まいにも合う石州S形瓦・洋風瓦も揃っている。
H様邸の室内には薪ストーブも設置しており、瓦屋根の上にはかわいい煙突も。瓦の持つ曲線が表情豊かな外観を作り出し、周囲の景観とも馴染んでいる。この薪ストーブのおかげで暖かな冬を過ごすことができるH様家。石州瓦は丈夫で耐久性・耐風性能が高いことはもちろん、断熱性能も高いため、石州瓦はこの家の暖かさにもひと役買っている。



腰板と黒い石州瓦のある屋根の外観は、東広島市の地域性に合った佇まい。風格も感じられる



無垢の木をたっぷり使った清々しい室内。手前のダイニングと奥のリビングは明るいところに設置した



夏は高い位置からの強い日差しを遮り、冬は室内に陽光をたっぷり届ける深めの軒。ウッドデッキはS様邸の心地よいセカンドリビングに

Kawara case 5
自然素材を用いて季節を楽しむ和風の家
壁は漆喰塗りに焼き杉の腰壁を貼り、屋根瓦に島根の石州瓦を用いた和風の構え。屋根は外断熱工法に加え、断熱材の上に通気層を設け断熱性能を高めている。軒を深く設けて、夏の強い日差しを遮り、洗濯物が雨に濡れない工夫も。前の住まいにあつた石灯籠をそのまま使った玄関アプローチは、歩きやすいよう緩やかな傾斜にしてある。



取材協力／橋本建設株式会社



手前がダイニングで、カウンターの向こうはキッチン。キッチンはガスコンロを設えたため、キッチン上部の垂れ壁はガラス製にした

Kawara case 2
黒い平板瓦が堂々の佇まい
東広島の気候にもマッチ

一方で夏は蒸し暑いという気候を合わせ持つ東広島市。
S様邸は腰板を施した和風建築に黒い平板瓦葺きが、外観をさらりと重厚感あるものにしている。切妻屋根の1階と2階が立体的に交差するデザインも特徴的だ。夏の室内を涼しく、そして冬は暖かくなるようウッドデッキの軒を深く張り出して、一年中快適になるようにしていることも、この地域ならでは。

取材協力／橋本建設株式会社



瓦屋根の魅力

多彩なデザインで 洋風住宅にも

石州瓦は、現代の暮らしに合う洋風住宅用デザインも豊富だ。モダンでシンプルなフレンチスタイルにはシャープで落ち着きのある外観を生み出す『平板瓦Fタイプ』。また『S瓦タイプ』は明るい地中海イメージ。色や形状も多彩に揃う。



長期的に見ると 断然オトク!

一般的に10年おきに塗り替えが必要な金属製や化粧スレート等の屋根と比較すると、石州瓦はほとんどメンテナンスフリー。ほとんど劣化や色褪せなどがないので、塗り直しや葺き替えの必要がなく、30年以上の長期的なコストを見ると経済的な屋根と言える。



石州瓦はメンテナンスフリー。20年後では、瓦屋根が断然お得です。

屋根材の耐用年数	屋根材のメンテナンス費用				
	新築時	10年後	20年後	20年間に必要な経費	
カラー鉄板 (瓦棒葺き)	15年	屋根材 350,000円	塗装・足場代 480,000円	塗装・足場代 480,000円	1,310,000円
ガルバリウム 鋼板葺き	30年	屋根材 650,000円	メンテナンス費 0円	メンテナンス費 0円	800,000円
カラーベスト葺き (薄型スレート)	30年	壁量躯体追加工事 150,000円			
粘土瓦葺き 60年					

※CASBEE(建築物環境性能評価)
HPより
※金額・年数はあくまで目安です。
※全国陶器瓦工業組合連合会・一般社団法人全日本瓦工事業連盟作成による
「瓦屋根・金属屋根のランニングコスト比較資料」に基づき、石州瓦工業組合が試算したものです。

取材協力/石州瓦工業組合

名品は永遠
石州瓦工業組合

〒695-0016 島根県江津市嘉久志町1405 TEL 0855-52-5605 FAX 0855-52-0766
<http://www.sekisyu-kawara.jp/> 石州瓦 検索 E-mail rooftile@tx.miracle.ne.jp

独自の製法による高い機能性

石州瓦の一番の特徴は耐久性だ。雨、積雪、日射、風、潮風など過酷な気候条件でも50~60年、それ以上劣化することなく住まいと家族を守る。その機能性の高さは原材料となる都野津層の粘土と、1200度以上という焼成温度の高さにある。

防風



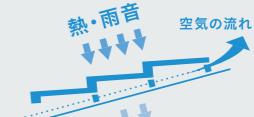
石州瓦は互いにがっちり組み合った構造。山陰に吹き荒れる強風にあっても、瓦のめくれやズレを最小限にとどめる

耐震



石州瓦の重い屋根が建物を大地に押し付けてるので、躯体さえしっかりしていれば、地震の揺れにも強さを発揮する

防音・耐久



風や地震に強く耐久性がある上、断熱、防露、遮音といった二次的性能も優れている。このため住まいの快適性や省エネにもひと役

